



敷地東側からみた建物イメージ

活用

県立病院跡地利活用事業の進捗と公共施設の基本設計について

子どもたちのための施設

市では、第7次総合計画に基づき、人・物・情報をつなぎ、にぎわいと活気にあふれた市民に親しまれる「まちの拠点」づくりを進めており、その一環として、県立病院跡地の利活用に取り組んでいます。県立病院跡地については、「子どもたちを中心に、人々が自然と集う場（みんなの交流拠点）」をコンセプトに、令和5年6月に基本計画を策定しました。これまでに、子どもの屋内遊び場を核とした「公共施設」と、にぎわい創出や地域活性化につながる「収益施設」を一体的に整備する事業について、公募型プロポーザルを2度実施しましたが、参加表明がなかったことから、事業手法の見直しを行いました。

現在は、子どもたちのための施設を早期に実現するため、公共施設を先行して整備するとともに、収益施設については別途検討を進めています。今後も、跡地全体の有効な利活用を図りながら、多くの人が交流できる拠点づくりを進めていきます。

● 問い合わせ…企画調整課（☎39・1201）

公共施設基本設計の方針

- 1 誰もが安心・安全で快適に過ごせる拠点づくり
- 2 子どもの個性を包含するインクルーシブな施設^{*1}
- 3 子どもを中心に多世代が集い、交流可能な施設
- 4 会津の「歴史・文化」と「スマートシティ」の調和を具現化する施設
- 5 環境にやさしく省エネルギーなサステナブル建築

公共施設の事業手法は、設計、建設、運営を一括して民間事業へ委託する、DBO方式^{*2}を進めています。



公共施設整備関係事業者一覧

種別	事業者名	業務
代表企業	(株)白井設計	設計
	会津土建(株) 滝谷建設工業(株)	建設
構成企業	カルチャア・コンビニエンス・クラブ(株) 学校法人白梅	運営
	(株)会津インターナショナルスイミングスクール (株)アークズ会津	維持管理
	(株)目黒工業商会	

※事業者の選定は、公募型プロポーザルで決定しました

* 1…性別や障がいの有無などにかかわらず、誰もが利用できる施設

* 2…[Design Build Operate]の略

フロアマップ

デジタルルーム

「スマートシティ会津若松」ならではのデジタルを活用した遊びや学びを体験できます



遊び場棟

プレイルーム

さまざまな遊具を設置し、未就学児や小学生など、年齢に合わせた遊び場として利用できます



交流棟

相談・多目的スペース

乳幼児健診や相談、子育て支援などの活動に使用します



交流棟

一時預かりスペース

生後6か月以上の乳幼児を一時的に預けることができます



交流棟

オープンスペース

小学生から高校生までの居場所や、多世代の交流促進など、多様な体験や活動、学習の場として利用できます



全体マップ



広場・緑地

子どもの外遊び場として充実させ、マルシェなどのイベントの開催による賑わいの創出を促進します

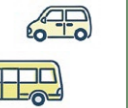


利用者駐車場・歩行者動線

多くの駐車スペースを確保しつつ、歩行者と車の動線を分けることで、利用のしやすさと安全性を確保します

【駐車台数】

- ・一般車両 約200台
- ・大型バス 2台
- ・自転車 約70台



将来活用用地

収益施設の立地に向けて、調査・検討を進めています。当面は、駐車場として貸し出しを行います



施設概要

所在地	城前他地内
敷地面積	約15,596㎡
構造	鉄筋コンクリート造 一部木造
階数	1階建て(遊び場除く)
建築面積	約2,300㎡
延床面積	約2,150㎡

事業費

全体事業費	51億2,050万円
(内訳)	①設計・建設費 26億3,395万円
	②維持管理・運営費 24億8,655万円

施設整備のスケジュール(予定)

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
事業者選定	→			
基本設計・実施設計		→		
発掘調査		→		
建設工事			→	
開館準備			→	
開館				5月~ →

※公共施設を15年間運営・維持管理する経費を含みます